

忘れられない夏

校長 鈴木 薫

夏休みが終わりました。記録や記憶に残る夏（休み）でした。7月13日に最高気温が30.7度を記録してから27日間、最高気温が30度以上、いわゆる真夏日が続きました。7月の月間降水量7.0mmは過去最低、22.8度の平均気温は過去最高、8月7日の37.1度は過去最高、7月31日の36.1度が2番目でした。（いずれも気象庁、過去の気象データ検索 美瑛 より）

また、夏休み中に「2020東京オリンピック」が開催されました。金メダル27個、銀メダル14、銅メダル17個、合計58個のメダルを獲得しました。これまでの最高獲得数だった前回のリオ・オリンピックの41個から大きく増やしました。東京都がコロナ禍による緊急事態宣言下での実施で、開催自体に賛否があったオリンピックでしたが、これまで5年間、開催できるかどうかかわからない中、努力を注ぎ込んできたアスリートにはリスペクト（尊敬、敬意を表す）したいと思いました。インタビューで、ほぼすべてのメダリストが自分以外の様々な人・もの・ことに感謝の意を述べていたのも印象的でした。

そして最後はやっぱりコロナです。8月13日、とうとう感染者が全国で2万人を超えました。第5波となるのでしょうか、波ごとに感染者が増えています。デルタ株が増えていることに加え、ワクチン未摂取でもある若い世代の割合が増えています。北海道も8月12日に480人を数え、それ以降増加の傾向にあります。「コロナ慣れ」「自粛疲れ」「我慢の限界」なんて言葉も報道でされていますが、ワクチン接種率が増え、コロナが下火になるまで様々なコロナ対策を怠らないようにしていく必要があります。

学校現場も、今年度は感染者が増えても自校で感染者が出ない限り、感染対策を講じる中、通常の学習活動を続け、「学びの保障」をすることになっています。1学期の中体連前には、「本校で感染者が出て、濃厚接触者になった生徒が中体連に出場できなくなった」という想定で、コロナいじめ・偏見・差別に関わる道徳の授業を全学年、全学級で共通して行いました。これから9月18日の文化祭に向けた取組も始まります。自校の感染対策はもちろんですが、感染者数が減少し、無事予定通り実施できることを祈るばかりです。

2学期もよろしくお祈りします。

～中体連・コンクール特集～

【中体連上川代表決定戦・全道大会】

～柔道女子全道3位おめでとう！～

7月8日から9日にわたり、中体連上川代表決定戦が開催され、卓球部1名、バドミントン部2名、柔道部4名が出場しました。地区大会に引き続き、どの種目も無観客での開催となりましたが、選手たちは全道大会出場を目指して、全力で試合に臨んでいました。

また、7月30日には、道南の厚沢部町で中体連柔道の全道大会が開催されました。本校からは、2名の選手が出場し、全道の強豪と全力で戦っていました。惜しくも全国大会出場はかないませんでした。今までの集大成となる素晴らしい試合でした。

選手の皆さん、お疲れ様でした！

【中体連上川代表決定戦の結果】

・卓球	女子個人	西田 琴音さん	予選リーグ惜敗
・バドミントン	女子個人	池田 比奈さん	1回戦惜敗
		舟山 美杏さん	1回戦惜敗
・柔道	男子個人	得能 理杜さん	2回戦惜敗
		菊間 直翔さん	1回戦惜敗
		大場 陸斗さん	優勝
	女子個人	小島深千果さん	優勝

【中体連全道大会の結果】

・柔道	男子個人	大場 陸斗さん	1回戦惜敗
	女子個人	小島深千果さん	3位



【吹奏楽コンクール旭川地区予選】～金賞おめでとう！～



7月31日に、旭川市民文化会館で吹奏楽コンクールが2年ぶりに開催されました。本校吹奏楽部は、自由曲「遙遠の海（ようえんのうみ）～アウロラを求めて」を演奏し、見事金賞を受賞しました。残念ながら僅差で全道大会出場はかないませんでした。24名のメンバーが、大変息のあった演奏を披露しました。

【2年生・宿泊研修】

7月18日から1泊2日で、2年生は赤平、滝川、砂川方面で宿泊研修を行いました。キャリア教育の一環で、赤平ではロケットの制作や打ち上げ、滝川ではカヌーやローボートを体験しました。初めての体験に、生徒たちは充実した2日間を送ることができました。

